

議会報告会報告書

平成26年5月12日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

B班

代表 下瀬俊夫

平成26年3月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成 26年 4月23日(水) 19時 ~ 21時

2 開催場所

赤崎公民館

3 参加人数(市民)

10人

4 担当班議員名

(下瀬俊夫) (中村博行) (石田清廉) (杉本保喜)
(笹木慶之) (大井淳一郎)

5 報告会次第

- | | | |
|-----------------|-------|------------|
| (1) 開会挨拶 | 大井淳一郎 | |
| (2) 3月議会の報告 | | |
| ① 総務文教常任委員会 | 中村博行 | [司会] 大井淳一郎 |
| ② 民生福祉常任委員会 | 石田清廉 | [受付] 笹木慶之 |
| ③ 産業建設常任委員会 | 杉本保喜 | |
| ④ 一般会計予算決算常任委員会 | 下瀬俊夫 | |
| (3) 質疑応答 | | |

6 主な質問・意見・提言

- ① 報酬審議会の進め方に問題があったとの説明だが、どこに問題があったのか。

[回 答]

資料に誘導的な内容が含まれていたこと及び出務手当など諮問事項にないものが附帯意見として挙げられていたことである。

- ② 正副委員長の報酬減額根拠に対する回答に、「県内他市と比べて手当が高く」とあるが、そもそも手当と違うのではないのか。

[回 答]

県内他市に比べて正副委員長とその他議員の月額報酬に、開きがあるために減額したと認識している。

- ③ 新病院の工事が遅れているとの噂が出ているが、それは事実なのか。

[回 答]

工事が遅れているのは事実である。理由は、専門的なスタッフと資材が確保できていないためである。

- ④ 医師あるいは看護師が不足している状況で、病院がオープンできるのか不安である。本当に大丈夫なのか。

[回 答]

その点、委員会としても慎重審議している。新病院オープンまでに医師30人は困難であるが、看護師も含め確保に向けた努力をすると聞いている。

- ⑤ デマンド交通の利用料金は大体決まっているのか。

[回 答]

美祿市など他市の状況を見ると300円くらいになると思われる。

- ⑥ 給食センターの予算についてゼロ修正したが、執行部からすれば議会は今後1センターについてはノーを突きつけたと考えるのが通常だと思うが、それは違うのか。

[回 答]

今回の建設予定地は土地開発公社の所有であり、処分ありきと言わざるを得ない。災害時対応の面からも問題がある。この度は用地購入費及び調査設計費のゼロ修正であり、共同調理場自体の建設を否定していない。

- ⑦ 給食センターについては色々な意見があるなか、全員一致でゼロ修正に賛成したことは異常だと見ているが、どうか。

[回 答]

議会で色々な意見がある中で全員一致となったのは、それだけ執行部の説明がひどかったと考えている。全員一致は議論を尽くした結果であり、異常だとは思っていない。

- ⑧ 議論の根本である子どもの安心安全が置き去りにされている。特例債の期限も迫っているなか、議会として今後どのような対応するのか。

[回 答]

子どもの安心安全は当然大事である。議会としてもゼロ修正をして終わりではなく、引き続き協議して何らかの合意点を導き出していきたい。

- ⑨ 本会議の採決を棄権した理由を教えてください。

[回答 1]

安心安全な給食を継続的に提供するという大きな事業であり、全額削除はいけない。ただし原案そのままでいいという判断のなかで、退席という手法をとった。

[回答 2]

削除という予算の修正はどんなに重たいものか。ドライ方式に変更する途を残すべきではないかと考える一方、説明不足の原案もいかなものかという経過で退席をした。

- ⑩ 前回の議会報告会で資料が不足していることを指摘したが、改善されていない。

- ⑪ チラシに報告するテーマや報告者を明記するなど、できることはスピーディーに対応してほしい。